



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.

WEB版

株主通信

2014年3月期
第3四半期

2013年4月1日~2013年12月31日

確かな未来へ向かって



株式会社スカパーJSATホールディングス



着実に施策を実行し、
増収増益トレンドを
維持しました。

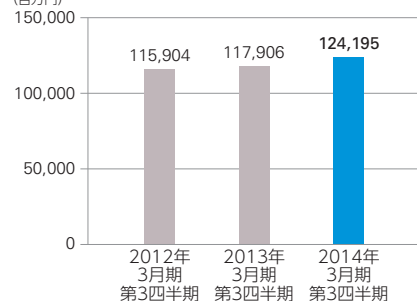
当第3四半期も、有料多チャンネル事業において「スカパー!プレミアムサービス」のハイビジョンサービス(H.264方式)への加入者移行が順調に進み、宇宙・衛星事業では国際サービス関連収入が拡大しました。また、費用面ではカスタマーセンターの運営コスト削減や衛星の減価償却費減少などが寄与し、上期までのトレンドを引き継ぎ増収増益となりました。特に営業利益は前年同四半期比32.6%増となり、ほぼ通期計画に到達しました。

新規加入策を更に強化

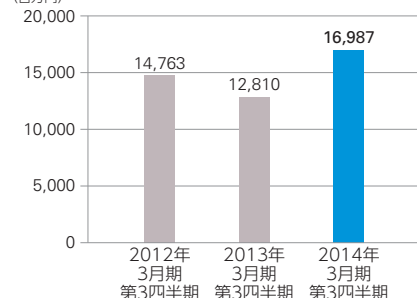
有料多チャンネル事業においては、当期の最重要課題であるハイビジョンサービスへの加入者移行がすでに年度目標の24.6万件を上回っていますが、これくらいよいよラストスパートをかけ30万件突破を目指してまいります。

一方で、当第3四半期までの累計加入件数は、10月、11月と加入促進キャンペーンを実施したものの、サービス合計で12.3万件の純減とマイナス幅が拡大しました。ハイビジョンサービスへの移行促進に伴う解約を考慮しても厳しい状況です。なんとしても巻き返しを図るべく、3月のプロ野球やJリーグなどスポーツシーズン開幕に向けて、コンテンツ強化の徹底を図るとともに、「スカパー!」にお客様がお好みの「5チャンネルを選べる」値ごろ感のある新商品を投入します。

営業収益
(百万円)



営業利益
(百万円)





登録会員数を伸ばしている「スカパー/オンデマンド」も当社の主要サービスと位置づけ、人気のサッカーコンテンツの拡充などサービス内容や機能の向上に注力してまいります。

災害対策・BCP向け需要も増加

宇宙・衛星事業においては、災害・事業継続計画(BCP)対策として衛星通信の評価が高まる中、昨年10月に高速道路会社3社(NEXCO東日本、中日本、西日本)の次期衛星通信システムを受注しました。また、船舶向けインターネット接続サービス「OceanBB」や航空機内ネット接続サービスでの衛星回線利用も堅調に推移しています。

海外では、インドネシアのLIPPOグループが9月に開始した衛星放送「BiG TV」の回線利用などが収益に寄与しています。

中長期的な成長への基盤づくり

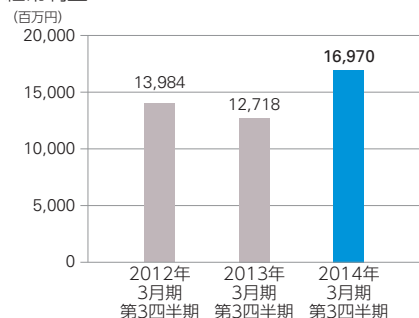
中長期的な取り組みとしては、一般社団法人「次世代放送推進フォーラム」の「次世代衛星放送テストベッド事業」に参画し、今年開始予定の4K放送の準備を着々と進めており、スカパー東京メディアセンター内に世界初の4K放送センターがまもなく完成の予定です。また、インドネシアで日本の番組を24時間放送するチャンネル「WAKUWAKU JAPAN」を開局しました。当社は、日本の優良なコンテンツ、ひいては日本文化を海外に普及させる架け橋としての役割を果たしながら、関係各社と連携して収益スキームの早期実現を目指してまいります。

宇宙・衛星事業では、2015年下期にJCSAT-14を打ち上げ、衛星需要の高いアジア・太平洋地域でグローバルサービスを一層加速していく計画です。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

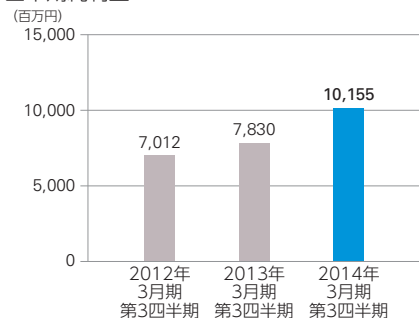
2014年2月
代表取締役社長

高田真治

経常利益



四半期純利益



2013年度 連結業績予想 (単位:億円)

	2012年度 (実績)	2013年度 (計画)
営業収益	1,596	1,640
営業利益	161	170
経常利益	156	165
当期純利益	96	100

連結財務諸表



連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	(参考)2013年3月期
	第3四半期 (4/1~12/31)	第3四半期 (4/1~12/31)	通期 (4/1~3/31)
営業収益	117,906	124,195	159,609
営業原価	78,253	80,081	106,168
営業総利益	39,652	44,114	53,441
販売費及び一般管理費	26,841	27,127	37,288
営業利益	12,810	16,987	16,153
営業外収益	449	549	637
営業外費用	541	566	1,092
経常利益	12,718	16,970	15,698
特別利益	22	75	73
特別損失	3	10	128
税金等調整前四半期純利益	12,736	17,034	15,643
法人税等合計	4,827	6,912	5,978
少数株主利益又は少数株主損失(△)	78	△33	△17
四半期純利益	7,830	10,155	9,682

「スカパー!プレミアムサービス」でのハイビジョンサービスへの加入者移行に伴う視聴料収入の増加や国際サービス関連収入の拡大により、5.3%の増加となりました。

カスタマーセンターの運営コスト削減など業務委託費が減少したことに加え、JCSAT-2A等の減価償却費が減少し、32.6%の増加となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	(参考)2013年3月期
	第3四半期 (4/1~12/31)	第3四半期 (4/1~12/31)	通期 (4/1~3/31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,034	26,612	38,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,069	△11,466	△11,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,014	△26,017	△19,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	68,366	63,850	74,472
有利子負債四半期末残高	51,781	45,026	49,398
純有利子負債四半期末残高	△16,585	△18,824	△25,074

自己株式の取得や長期借入金の返済による支出が増加しました。

現金及び現金同等物の残高は、有利子負債残高を188億円上回り、実質無借金となっています。



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	(参考)2013年3月期
	第3四半期末 (12/31)	第3四半期末 (12/31)	期末 (3/31)
資産の部			
流動資産	93,863	96,402	104,431
固定資産	190,165	179,303	186,055
有形固定資産	146,010	137,918	141,758
無形固定資産	12,968	11,143	12,460
投資その他の資産	31,186	30,240	31,835
資産合計	284,029	275,705	290,486
負債の部			
流動負債	44,393	64,307	51,329
固定負債	50,262	26,066	46,463
負債合計	94,656	90,374	97,793
純資産の部			
株主資本	190,339	183,289	192,191
資本金	10,000	10,000	10,000
資本剰余金	158,193	158,193	158,193
利益剰余金	26,029	34,224	27,881
自己株式	△3,883	△19,128	△3,883
その他の包括利益累計額	△1,474	1,673	90
少数株主持分	507	368	410
純資産合計	189,373	185,331	192,693
負債純資産合計	284,029	275,705	290,486

12月5日付自己株式立会外買付取引
(ToSTNet-3)により、自己株式2,833
万株(152億円)を取得いたしました。



新商品を販売!

5チャンネル選べる新商品を投入

デジタルテレビで手軽にご視聴いただける「スカパー!」は、1チャンネルから契約することができますが、従来からの月額3,570円で45チャンネル見放題のお得な基本パックに加え、3月17日からは月額1,980円で対象45チャンネルの中から好きな5チャンネルを選べる新商品を販売します。手ごろなお値段で観たいチャンネルが決まっているお客様にはとても魅力的なセットプランです。

まずは **お試し体験!!**

2週間お試し体験 <http://www.skyperfectv.co.jp/guide/trial/?bmtop=banner>

チャンネルやパック・セットを自由に設計できる「スカパー!」

45チャンネルが見放題 3,570円/月

5チャンネルを一括契約 1,980円/月

1チャンネル単位で契約 410円/月

New!

+

基本料410円/月



日本から世界へ!

インドネシアで『WAKUWAKU JAPAN』開局

2014年2月22日、当社はインドネシアにおいて、現地最大手のメディアグループ「PT Global Mediacom Tbk.」傘下の衛星放送運営会社「MNC Sky Vision」と契約を締結し、約200万世帯(当社推定)が加入する2つの衛星放送サービス「INDOVISION」と「OKEVISION」にて、24時間オールジャパンコンテンツを現地語で放送するチャンネル『WAKUWAKU JAPAN(ワクワク ジャパン)』を開局しました。

このプロジェクトは放送事業の領域を超え、コンテンツを核として、アジアでの多様な事業を検討・実施するオールジャパン体制での取り組みです。イベントチケットやグッズ販売のほか、現地の少年たちがJリーグのユース入団を目指す番組の共同企画など、様々な連携ビジネスを展開していきます。



**WakuWaku
JAPAN**



アジア・太平洋地域
での展開を加速!

JCSAT-14の打ち上げロケットの調達契約を締結

2014年1月、通信衛星JCSAT-14の打ち上げロケットの調達契約をスペース・エクスプロレーション・テクノロジーズ (SpaceX) 社と締結しました。このロケットで打ち上げる衛星の調達契約は2013年6月に締結しており、2015年下期の打ち上げを予定しています。

JCSAT-14は東経154度の静止軌道において運用中のJCSAT-2Aの後継機であり、KuバンドとCバンドのトランスポンダ (中継器) を搭載します。Kuバンドには日本ビームに加え、アジア・太平洋地域をカバーする国際ビームを搭載し、Cバンドは国際回線の収容能力を増強してロシアの可視範囲全域及び太平洋島嶼国にまで拡大します。

当社は、今後も日本国内における衛星通信サービスの提供に取り組むとともに、アジア・太平洋地域におけるグローバルビジネスの展開を積極的に推進していきます。



©SpaceX

衛星通信 マメ知識

通信衛星の構造を教えてください

通信衛星の全長はタイプによって異なりますが、
だいたい電車の1車両と同じくらいの長さといわれています。

展開型鏡面成形アンテナ

電波を送受信します。展開型とよばれているのは、打ち上げ後、通信衛星が軌道位置に着いてから地球からの指示によりアンテナが開くからです。

テレメトリ・コマンド用オムニアンテナ

打ち上げ時には、まだ展開型アンテナは開いていないので、使用できません。これらのアンテナの代わりに電波を送受信します。

太陽電池パネル

太陽光を利用して通信衛星の運用に必要な電力を自らつくりだします。

スラスタ

衛星の姿勢や軌道のずれをなおすためのジェット噴射器です。

放熱パネル

温度が上がりにやすい機械の熱を外へ逃がします。このパネルには通信衛星の中の温度を一定に保つための放熱パイプが埋め込まれています。



おすすめ
コンテンツ

スカパー！なら、豊富なジャンルとチャンネル数から
見たい番組が見つかります！

スカパー！公式サイトでは、毎月ジャンル別におすすめ番組をご案内しています。
下の各ジャンルのアイコンをクリックすると番組紹介ページをご覧ください。

各ジャンルのおすすめ!!